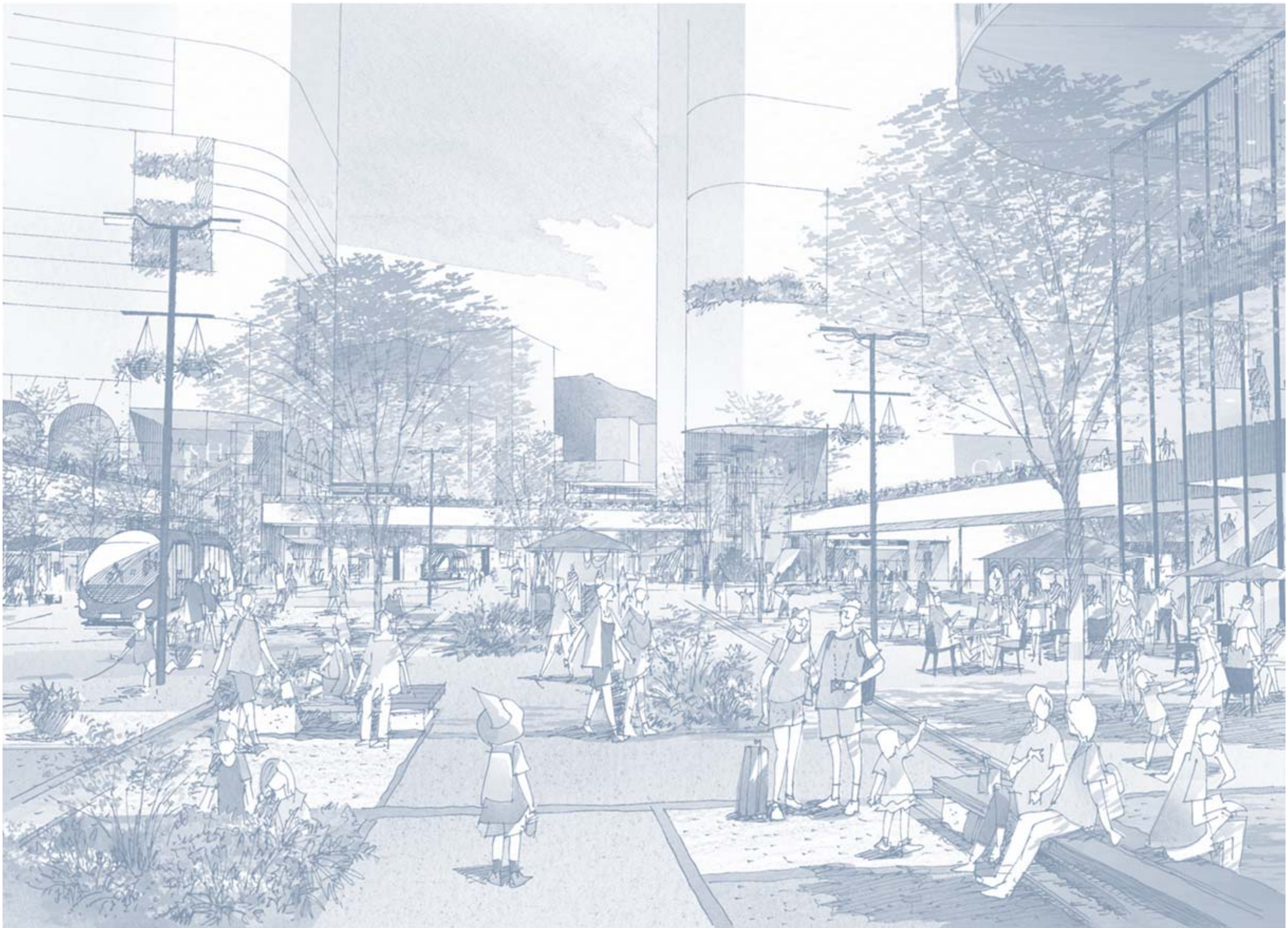
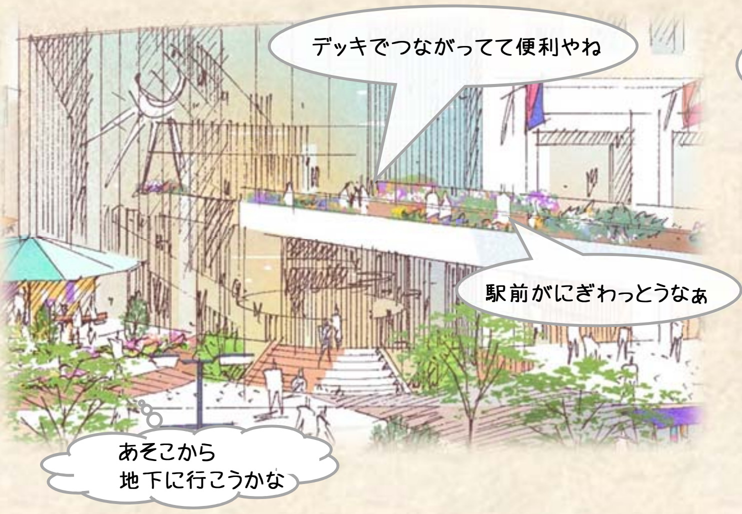
三宮周辺地区の『再整備基本構想』

平成27年9月　神戸市



美しき港町・神戸の玄関口“三宮”へ

海と山に囲まれ、駅とまちが近い、三宮
これから、駅とまちはもっと近くなる
駅を出た瞬間、訪れた人々が自然とまちへ誘われる
それが、新しい神戸の玄関口“三宮”



人と公共交通優先の空間　三宮クロススクエア

三宮のまちは

港町の歴史と文化に触れる上質な空間

気持ちよく利用できる化粧室

花と緑あふれる心地良い屋上空間

風格ある街並みデザインの誘導

人と公共交通優先の空間

三宮交差点を東方向に見る

三宮交差点を南方向に見る

こう変わる

スタートアップオフィス

神戸の魅力を発信

北側駅前広場の拡充

新東口の検討

中・長距離バスの集約

三宮クロススクエア

三宮交差点を北方向に見る

三宮交差点から東方向を見る

神戸で過ごす１日が、こう変わる

都心に住む子育て中の女性の１日

自宅

8：30

移動

パパに娘を任せて私は三宮の職場へ出勤

パパは娘を保育園に預けたあと
駅前駐輪場に自転車を停めて、電車で仕事へ

9：00

会社

最近三宮で起業したＩＴベンチャーと打合せ

12：00

職場の同僚と東遊園地でお弁当

17：00

えき～まち空間

仕事が終わって娘のお迎え
花壇横のベンチに座ってママ友とおしゃべり

17：30

パパと待ち合わせ
広場でキッズコレクションをやっていたので
ちょっと立ち寄り

18：00

今日は地下街で夕食をテイクアウト

18：30

フラワーロードのイルミネーションを眺めながら
３人で仲良く帰宅

自宅

三宮を訪れた観光客の１日

移動

10：00　リムジンバスで、新しくできた三宮のバスターミナルへ到着
三宮のインフォメーションセンターで情報収集

三宮周辺

歩いてまちへ
駅からまちが、まちから山が見えるから
行きたい方向がすぐわかる

周辺エリア

12：00　街並みを楽しみながら散策
人気の洋食店へ

シティバスでウォーターフロントへ
待ち時間もほとんどなし

14：00　港のオープンカフェでティータイム
海の風を感じながら、山の緑が心地良い

コミュニティサイクル“コベリン”で三宮へ

三宮周辺

17：00　まちなかでミニライブに遭遇

21：00　夜景が見えるバーで
神戸の思い出に浸りながら一杯

宿泊

翌日7：30　焼き立てのパンに美味しい紅茶
優雅な朝を満喫

移動

翌日9：30　新神戸から新幹線で次の目的地へ

目次

Ⅰ．はじめに ・・・・・ｐ１

- 構想の背景と目的
- 構想の前提・対象エリア
- 三宮周辺地区に求められること
- 三宮周辺地区の課題

Ⅱ．まちづくりの基本方針 ・・・・・ｐ４

- 目指すべき将来像
- 「えき≈まち空間」とは
- まちづくりの５つの方針
- まちづくりの方針図

Ⅲ．具体的方策について ・・・・・ｐ８

- 方針１　歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ
- 方針２　誰にでもわかりやすい交通結節点へ
- 方針３　いつ来てもときめく出会いと発見を
- 方針４　人を惹きつけ心に残るまちへ
- 方針５　地域がまちを成長させる

Ⅳ．構想の実現に向けて ・・・・・ｐ２８

- 構想実現のための長期的スケジュールイメージ

構想の背景と目的

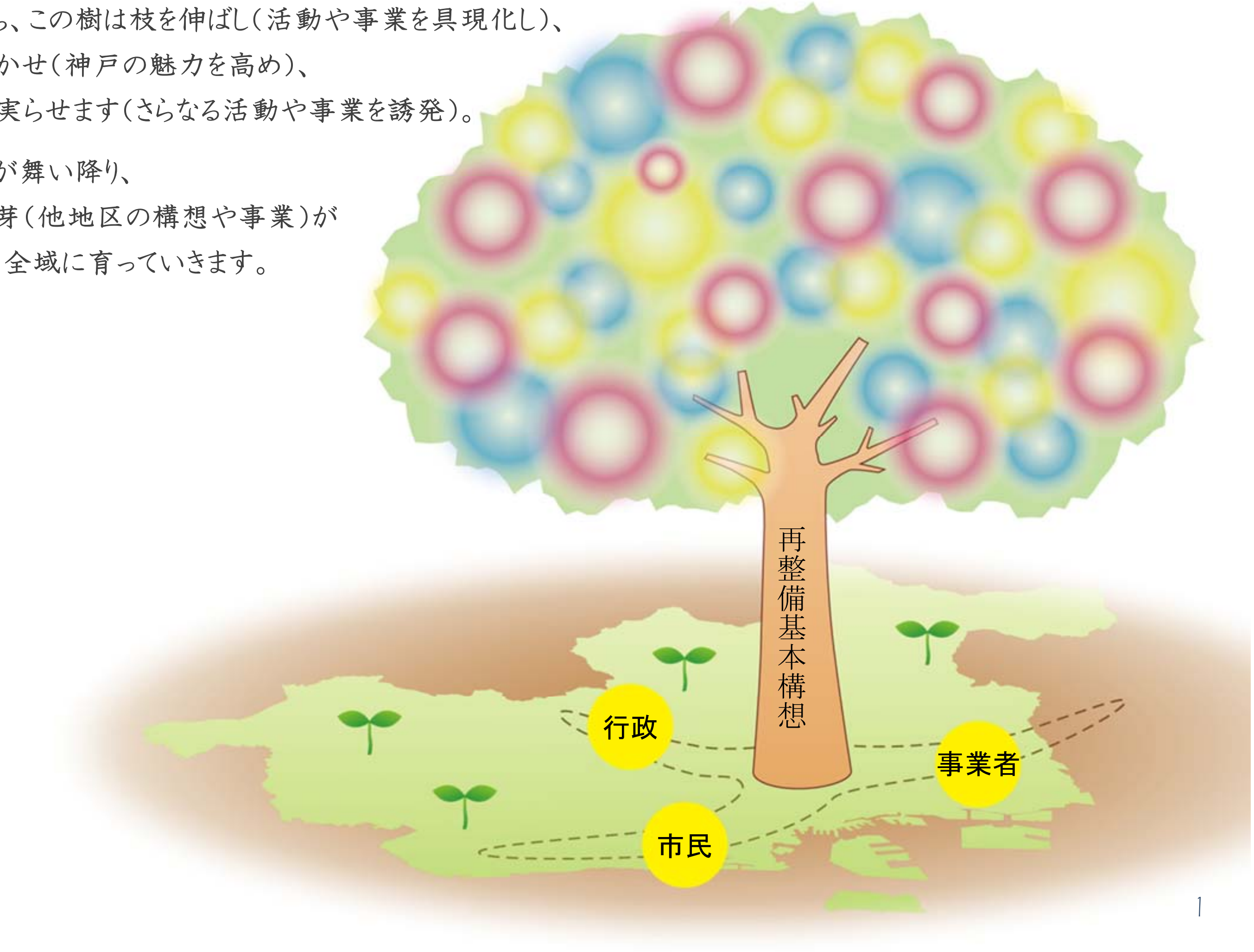
- ○ 神戸の玄関口である三宮周辺地区の再整備は、神戸全体のまちや経済を活性化し、国際競争力を高めるうえで不可欠です。
- ○ 民間活力の導入を図りながら、魅力的で風格ある都市空間の実現が求められており、神戸市が主体となって、「デザイン都市・神戸」、「国際都市神戸」にふさわしい将来像を描くことが必要です。
- ○ 市民、事業者、行政が将来像を共有し、その実現に向けて協働で取り組むため、三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定します。
- ○ すでに民間事業者による開発の機運が高まっており、官民が連携して事業を推進することでさらなる民間事業を誘発し、都心の再生に向けた動きを確実に神戸の発展へとつなげ、そして世界に貢献できる都市を目指します。

この絵は、まちの将来像を一本の樹に、神戸市全域を土壌に見立てたイメージです。
樹を大きく育てるには、丈夫な幹が必要です。
この幹を『再整備基本構想』とします。

神戸市は、この樹をまず神戸の玄関口である三宮に植えることにしました。
根として共に幹を支えるのが、市民、事業者、行政です。

これから、この樹は枝を伸ばし（活動や事業を具現化し）、
花を咲かせ（神戸の魅力を高め）、
果実を実らせます（さらなる活動や事業を誘発）。

その種が舞い降り、
新たな芽（他地区の構想や事業）が
神戸市全域に育っていきます。

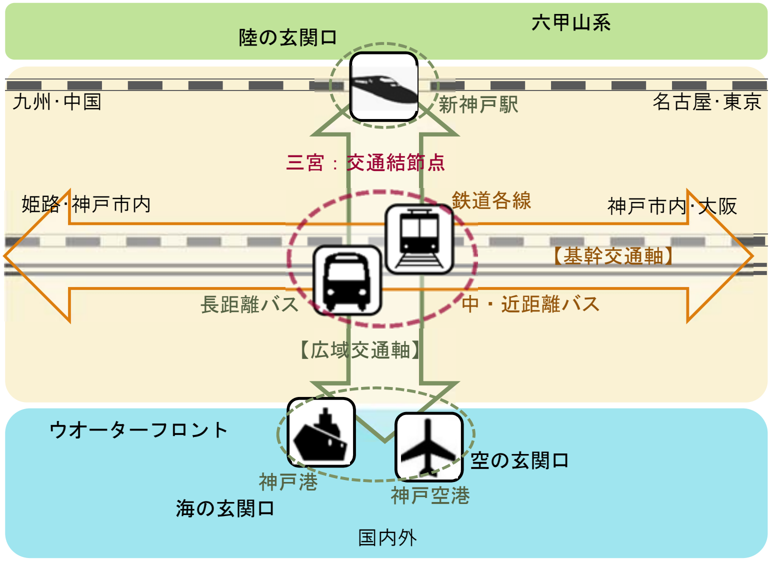


構想の前提・対象エリア

- 概ね３０年後を見据えた段階的な再整備
- 三宮駅を中心とした半径５００ｍ程度の範囲が対象
- 既存の駅の改札口は現状のままと想定

三宮周辺地区に求められること

- 国際競争・都市間競争において、選ばれるための魅力・活力の創造
- 国際都市神戸の玄関口にふさわしい交通結節機能の充実
- 地区内及び周辺地域への回遊性向上
- 商業や業務、文化、交流機能の集積と更新
- デザイン都市・神戸の玄関口にふさわしい景観形成
- 災害に強く、環境負荷の少ないまちづくりの推進



三宮周辺地区の課題

乗り換え動線がわかりにくい

① 各鉄道間の乗り換え動線がわかりにくい
② デッキの一部に段差がありバリアフリーでない
③ 案内サインがわかりにくい、統一感がない

駅から周辺のまちへのつながりが弱い

① 駅からまちへのつながりが悪い、南北の移動が不便
② 地下通路の動線や地上への出入口がわかりにくい
③ 徒歩圏内の魅力的なエリア（元町・旧居留地、北野方面など）への回遊性が低い

広場など人のための空間が少ない

① 日常的なにぎわい空間やイベント等ができる広場の不足
② 街なかに休憩スペースがない
③ 駅周辺に防災拠点となるような空間がない

神戸経済を先導する機能集積が十分でない

① 少子高齢化など大きな社会経済状況の変化の下で、神戸が持続的に発展するための機能、産業が少ない
② 神戸ならでは、神戸らしい機能等が十分でない

駅前広場の交通結節機能が弱い

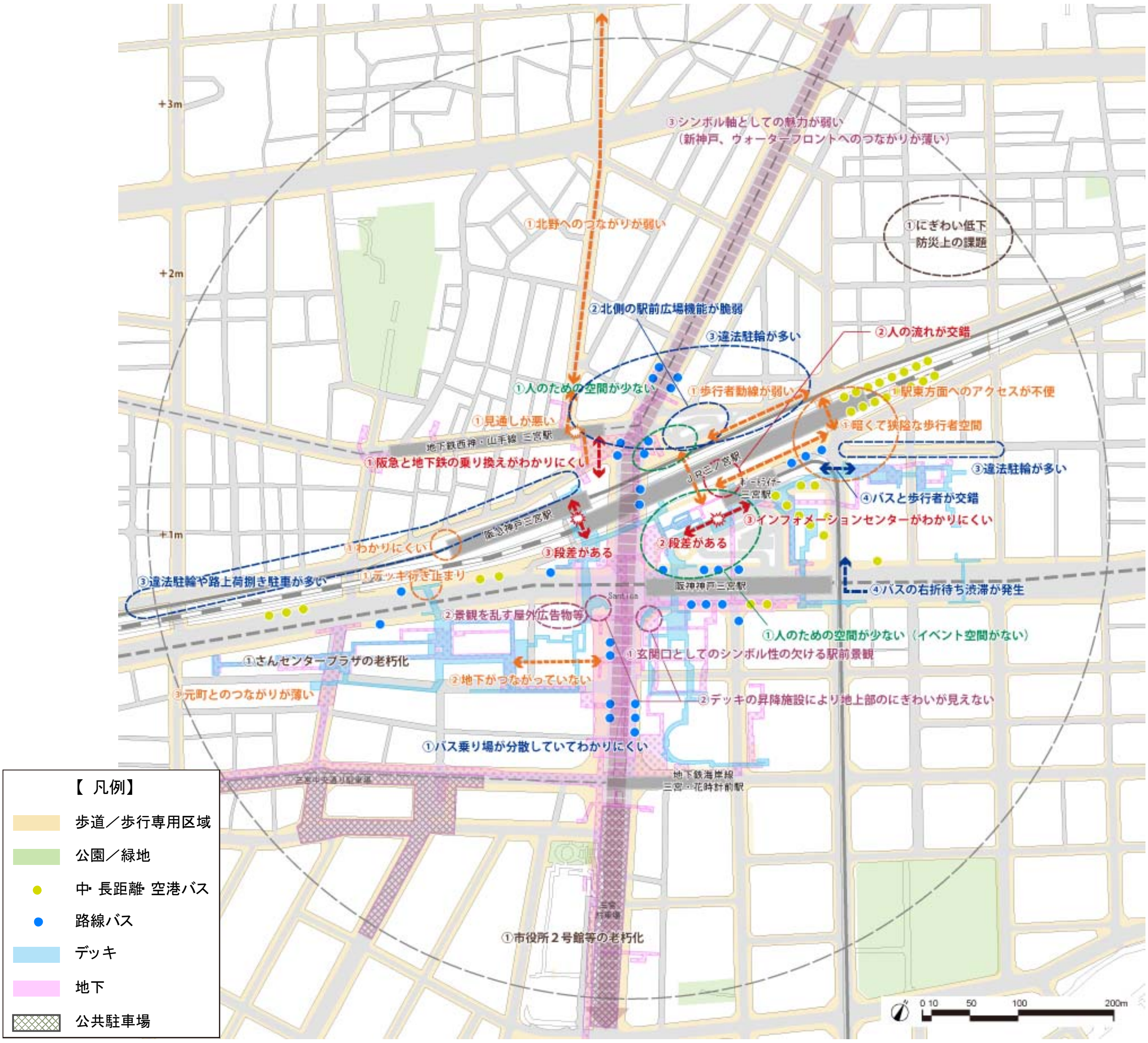
① バス乗り場が分散していてわかりにくい
② 北側の駅前広場機能が脆弱
③ 駅周辺の違法駐輪が多い
④ バスと歩行者の交錯による安全面の懸念、渋滞等の発生

玄関口にふさわしい特色ある景観がない

① まちのシンボルがなく、駅前がごちゃごちゃしている
② 駅周辺に神戸らしい高質な緑がない
③ シンボル軸としてのフラワーロードの魅力が弱い
④ 新しい高層マンションなどにより海と山への見通し景観が阻害されている

建物老朽化が進行、小規模建物が密集

① 老朽化した建物の建て替えが進んでいない
② まちの機能更新が進んでいないため、面的なエネルギー効率化などの環境への取り組みが行われていない



三宮周辺地区全体の魅力向上のためには、６つの駅を含む中心エリアの再整備が最重要課題

美しき港町・神戸の玄関口“三宮”

「えき≈まち空間」とは

まちであり、駅である空間、　「えき」（６つの駅とバス乗降場）と「まち」をつなぐ空間
これを「えき≈まち空間」と名付け、神戸の玄関口としてふさわしい空間を整備します。

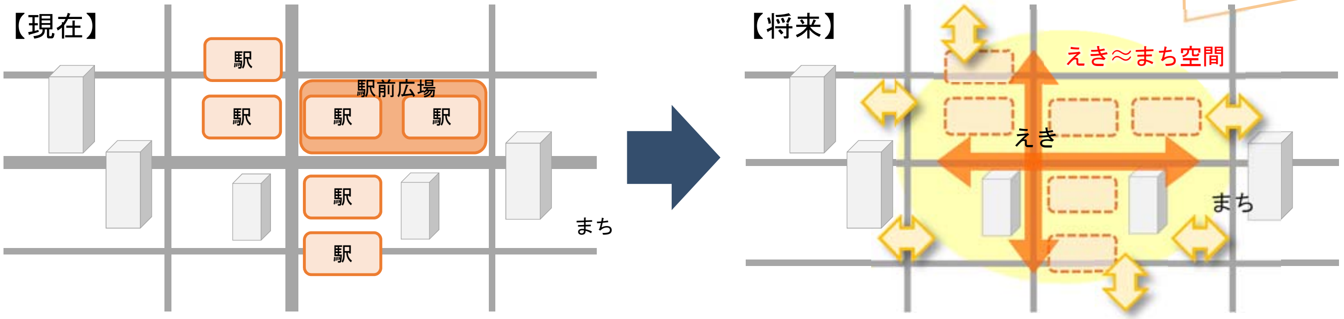
駅前の利便性をさらに高め、にぎわいや活力を生み出す

・駅前の道路を自動車から【人と公共交通優先の空間】に
・民間ビルも活用しながら地下・地上・デッキの３層をより【上下移動しやすい空間】に
・神戸らしさが感じられ、印象に残る【玄関口にふさわしい駅前空間】に

「えき」と「まち」が平面的にも立体的にもつながり、移動しやすく心地よい「えき≈まち空間」を創出

・三宮の６つの駅があたかも【１つの大きな「えき」】に
・「えき」での乗り換えはもちろん、「まち」とも行き来がしやすく、【より便利で機能的】に
・もっと「まち」を体験したくなる【神戸の象徴】に

「えき≈まち空間」の「≈」には、
・「えき」と「まち」が緩やかにつながる、一体的な空間となる、
・「えき」から「まち」に人が流れていく
という意味合いを込めています。



［えき≈まち空間 の将来イメージ ］

３層ネットワークの強化　　山への眺望　　わかりやすい縦動線の整備

高質な花と緑の演出　　まとまった広場空間　　公共空間と民地の一体的な活用

周囲には寄り付きが必要な方にも配慮し、誰にとっても使いやすく、安全で安心な場所を作ります。

まちづくりの５つの方針

1
笑顔で歩く

歩くことが楽しく巡りたくなるまちへ

- 人と公共交通優先の道路空間「三宮クロススクエア」の創出
- 歩く人が中心のまちの実現に向けた交通体系の見直し
- 回遊性を高める歩行者ネットワークの構築
- 神戸らしい緑と花のプロムナードの形成
- 市民や来街者が自由に集い・憩える滞留空間の創出

2
気持ちよく動ける

誰にでもわかりやすい交通結節点へ

- ボイドの整備による３層ネットワークの強化
- 駅とまちとのつながりを強化
- 駅前広場機能の再配分と駅周辺の歩行者空間の整備
- 多様な回遊手段の確保
- 中・長距離バス乗降場の集約、路線バス乗降場の集約

3
誘う魅力が溢れる

いつ来てもときめく出会いと発見を

- 神戸に暮らし、働く魅力を高める
- 神戸を訪れ、長時間滞在する魅力を高める

4
海・山、神戸らしさを感じる

人を惹きつけ心に残るまちへ

- 公共空間と民地が一体的にデザインされた玄関口にふさわしい駅前景観の創出
- 眺望景観の確保、視点場の整備
- 神戸の歴史や文化の薫りが漂う、風格ある街並みデザインの誘導
- 日本を代表する夜間景観の更なる魅力向上

5
支え、まもり育て、発信する

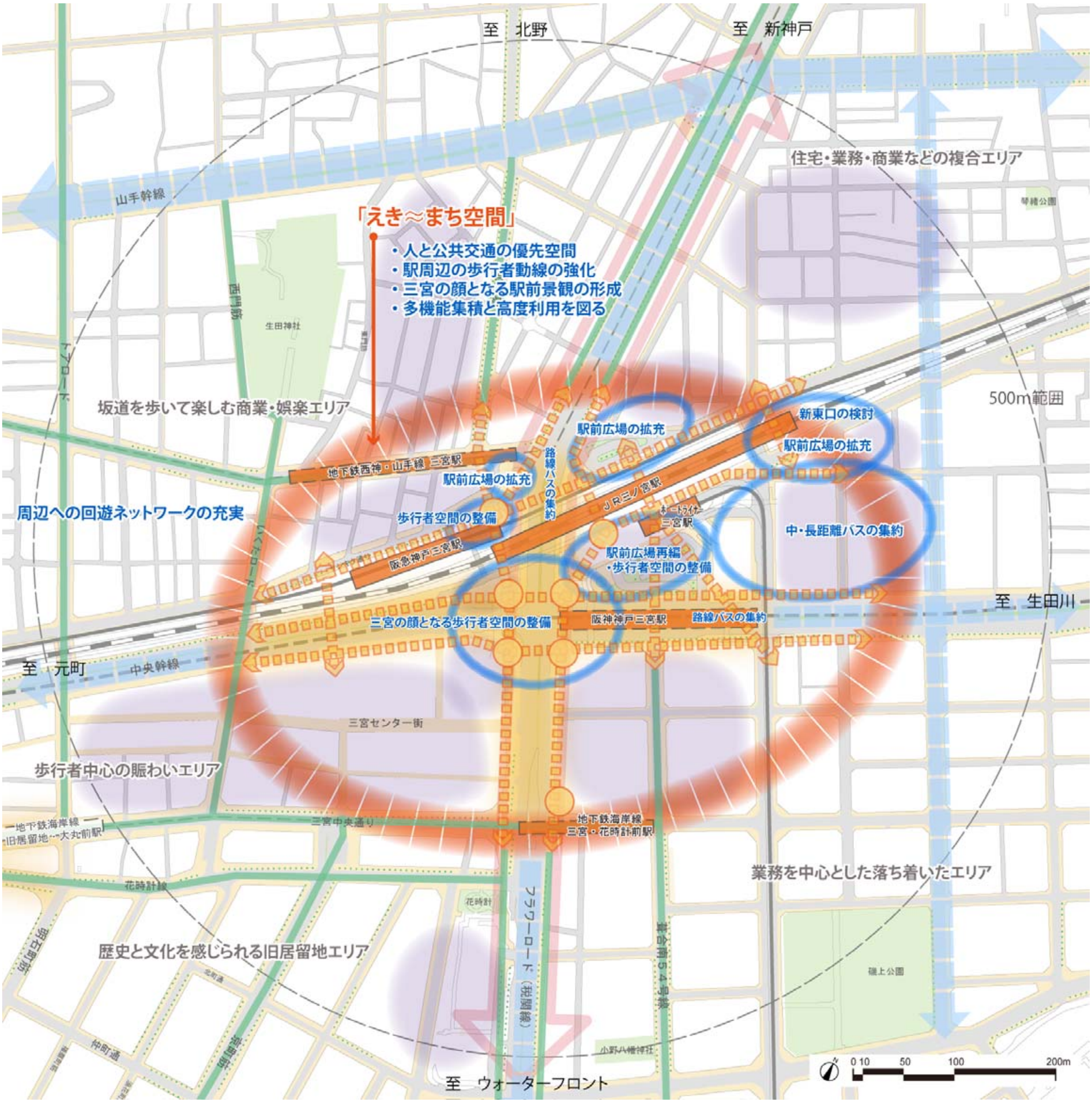
地域がまちを成長させる

- 地元協議会と連携したエリアマネジメントによる特色あるまちづくりの実践
- 低炭素まちづくりやエリア防災への取り組み
- 神戸の魅力を国内外に広報・PRするシティプロモーションの強化

●不測の災害に対しても対応可能な、確かな防災力

●環境に優しく持続可能なまち

まちづくりの方針図



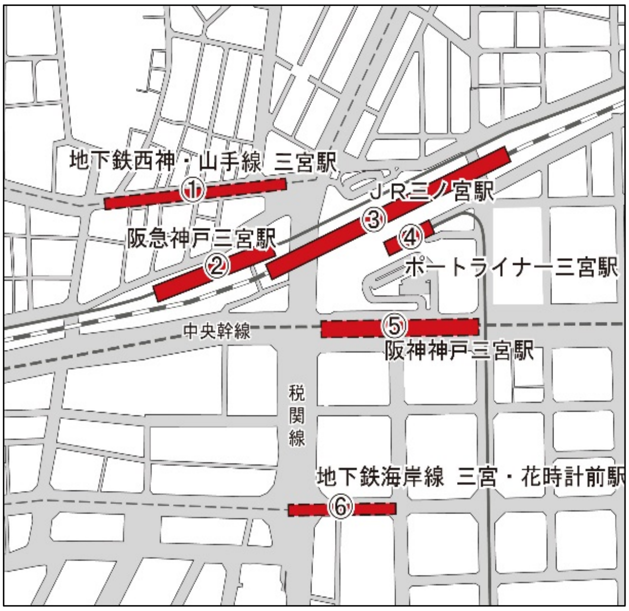
［凡例］

神戸を代表するシンボルロード	官民連携により高質で心地よい公共空間づくりを目指すエリア
主要な車両動線となる交通ネットワーク	人と公共交通の優先空間
まちの回遊性を高める歩行者ネットワーク	建て替え・更新が想定もしくは望まれるエリア
駅周辺の歩行者動線の強化（地上・地下・デッキ）	
ボイド（わかりやすい縦動線＋滞留空間） ※民地内の整備を誘導	

人と公共交通優先の道路空間「三宮クロススクエア」の創出

- 三宮交差点を中心として、地区内の６駅（ＪＲ、阪急、阪神、地下鉄西神・山手線、地下鉄海岸線、ポートライナー）を結ぶフラワーロードおよび中央幹線の一部を、人と公共交通が優先の道路空間「三宮クロススクエア」として段階的に整備することを目指します。
- 三宮を訪れる人々の活動の拠点・基点として、「えき≈まち空間」の象徴となる空間づくりを行います。

［現状］



６つの駅間を幹線道路が分断

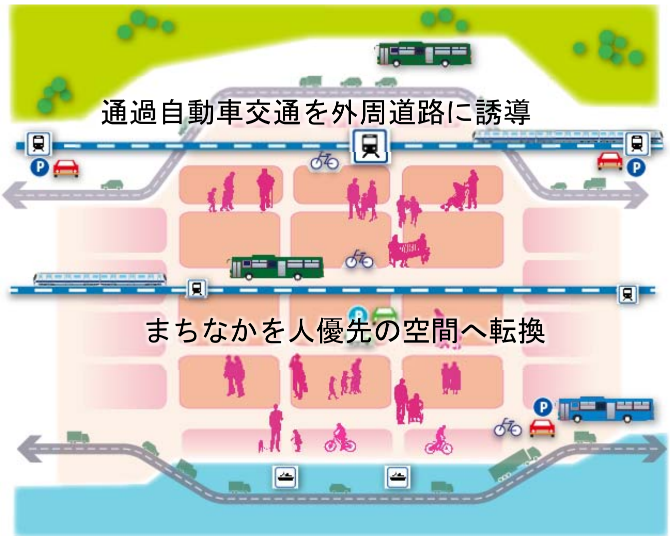
［将来イメージ］

６つの駅をつなぐ空間を人に優しい空間に再編

歩く人が中心のまちの実現に向けた交通体系の見直し

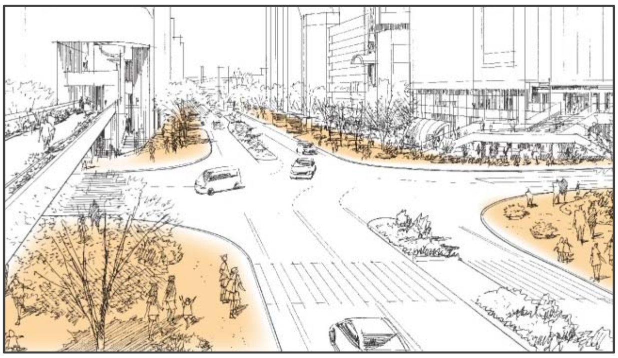
- 通過交通を外周道路へ誘導するための道路体系の見直しや新たな交通手段の導入検討など、必要となる対策を十分に検討した上で、鉄道やバスの利用性向上と併せて、まちなかにおける自動車交通からの転換を図ります。

- 自動車での寄り付きを必要とする交通弱者の方や、商業者の荷捌きなど、まちなかに自動車で用事がある人の利便性にも配慮しながら、誰もが安全安心に歩くことができるまちづくりを目指します。



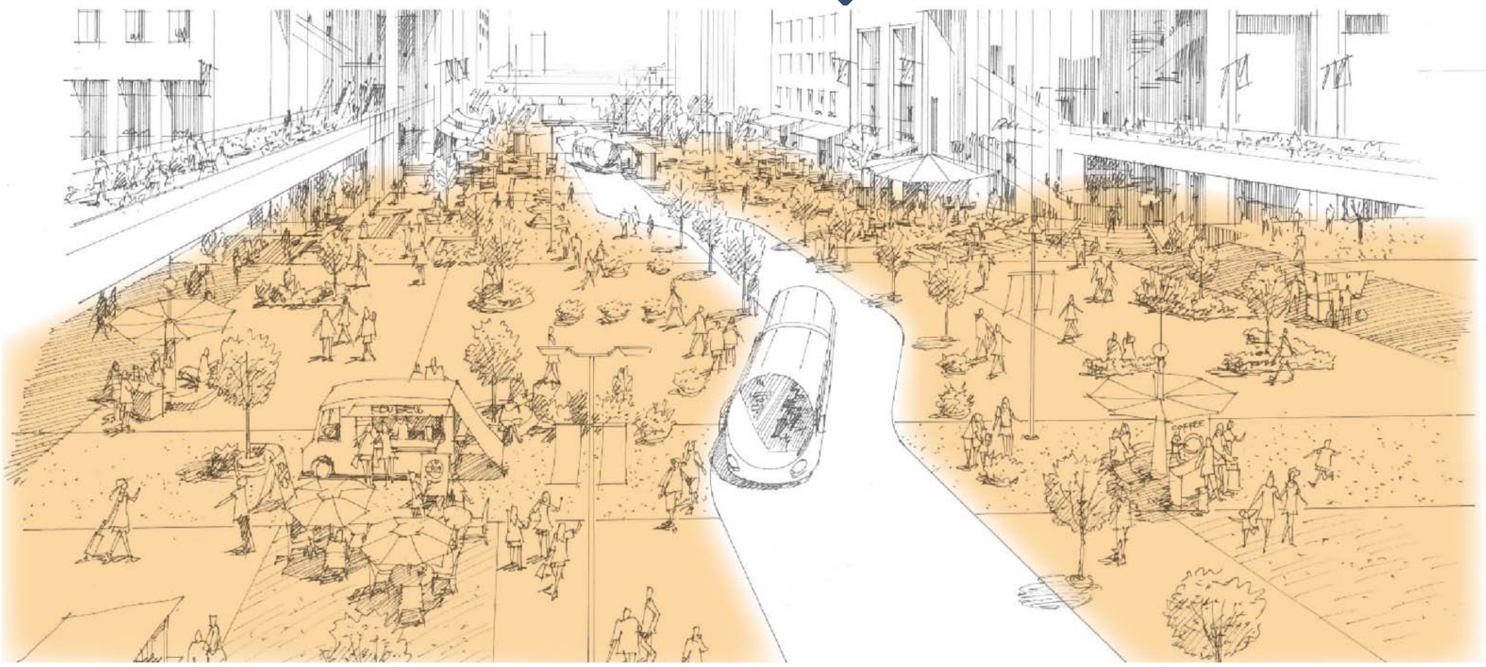
［段階整備イメージ］

現状：車中心の道路空間



段階整備：車線減少、歩道拡幅

人のための空間を大幅に拡大

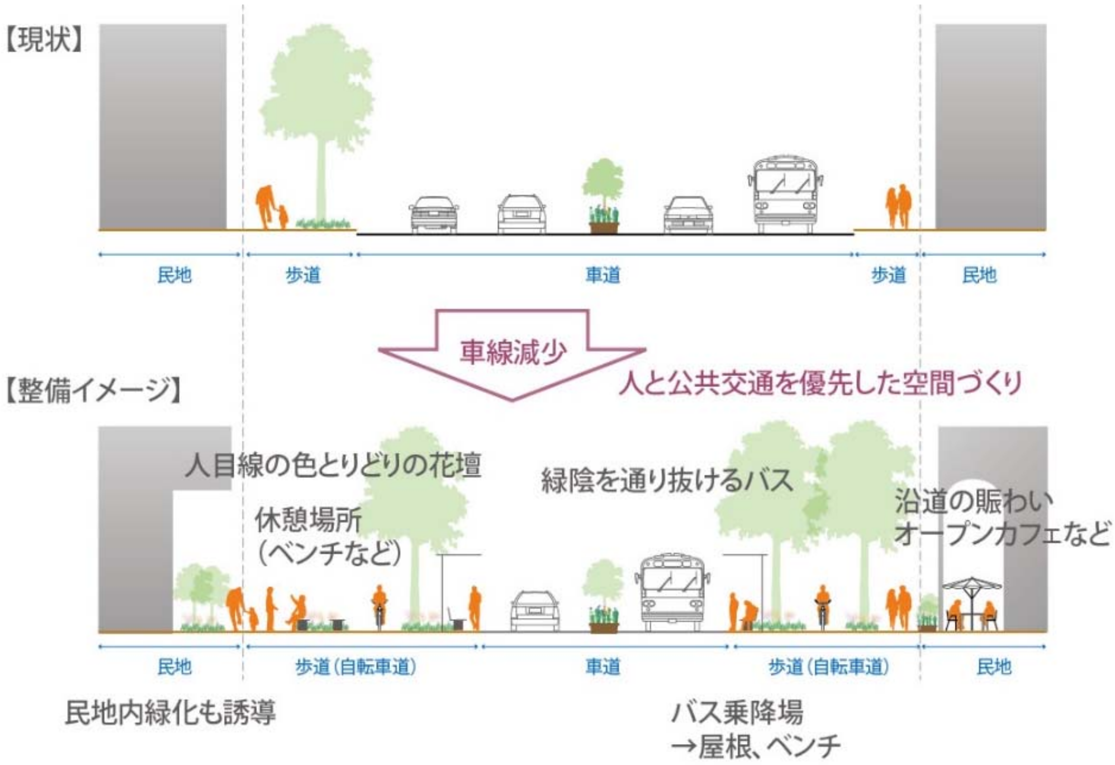


人と公共交通優先の空間

回遊性を高める歩行者ネットワークの構築

- 北野や旧居留地、ウォーターフロントなど周辺のにぎわいスポットと「えき≈まち空間」をスムーズにつなぐ歩行者ネットワークを構築します。
- 統一された街並みや、連続する低層部のにぎわいなど、歩く楽しさを誘導し回遊性を高めます。
- 歩行者ネットワークを構成する道路空間は積極的に歩道拡幅、緑や花壇などの環境整備（道路空間リデザイン）を行い、安全で快適な歩行者環境を創出します。

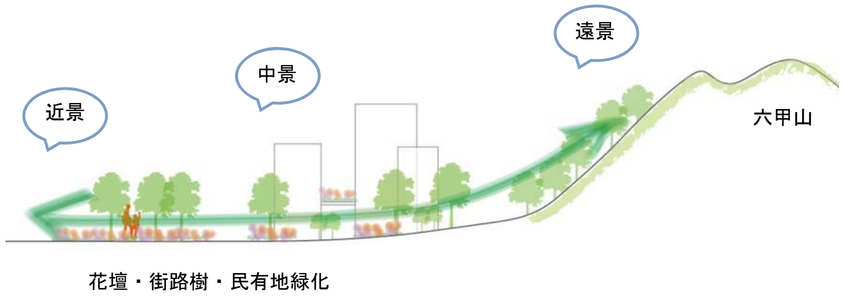
［道路空間リデザイン］



神戸らしい緑と花のプロムナードの形成

- 市民や企業の協力を得ながら、緑陰空間や休憩場所と一体的に緑と花の空間整備を推進します。
- 六甲山系の山並み、世界につながる海を活かした、緑と花のプロムナード（遊歩道）を形成します。

［南北方向プロムナードイメージ］



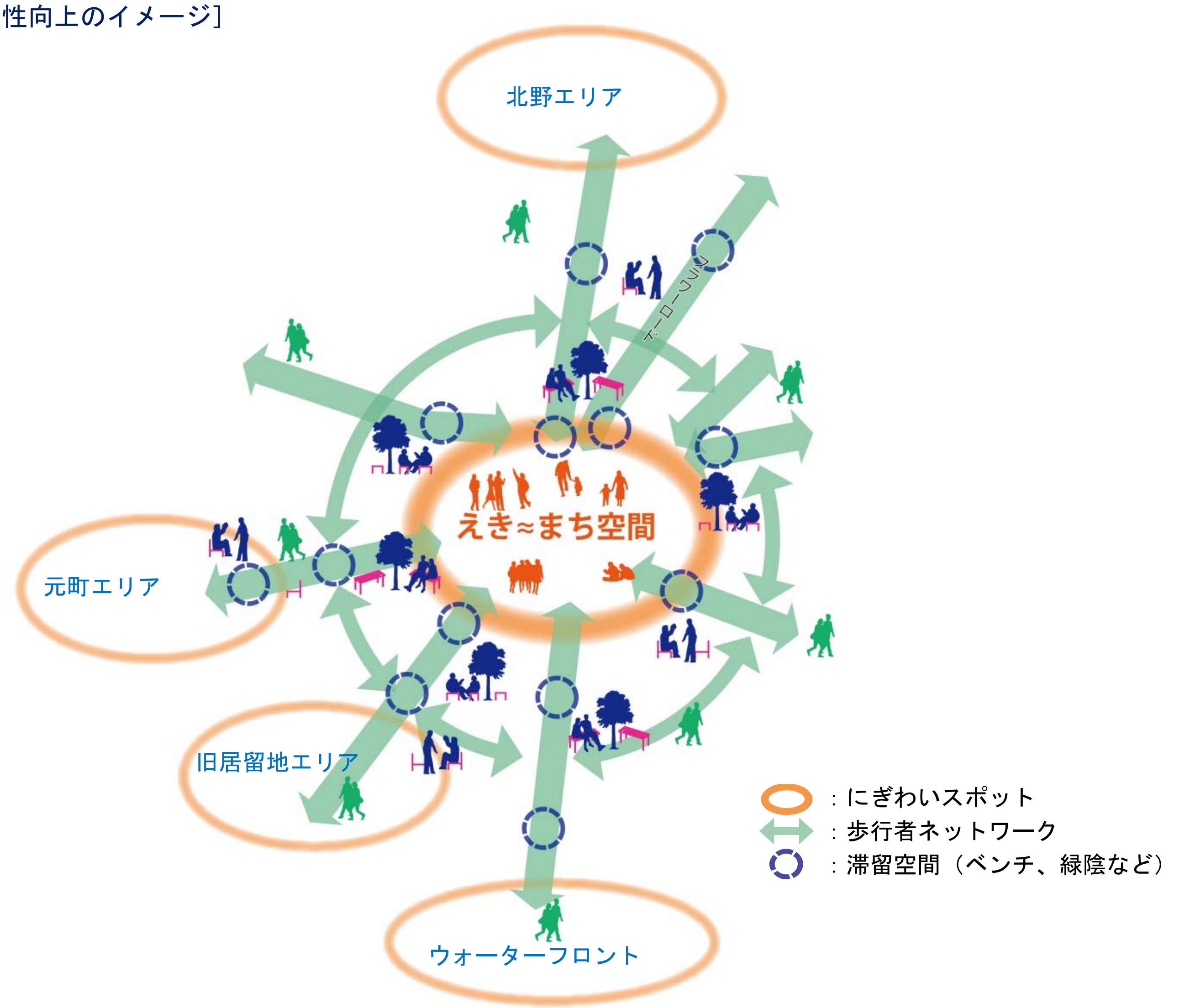
ふれあい花壇

まちの緑と六甲山系の山並み

市民や来街者が自由に集い・憩える憩滞留空間の創出

- まちの回遊性向上のために、歩行者ネットワーク上には休憩できる快適な緑陰空間を整備します。
- 街区単位での共同建て替えを促進することによって空間のゆとりを創出し、まちなかの滞留空間を増やします。

［回遊性向上のイメージ］



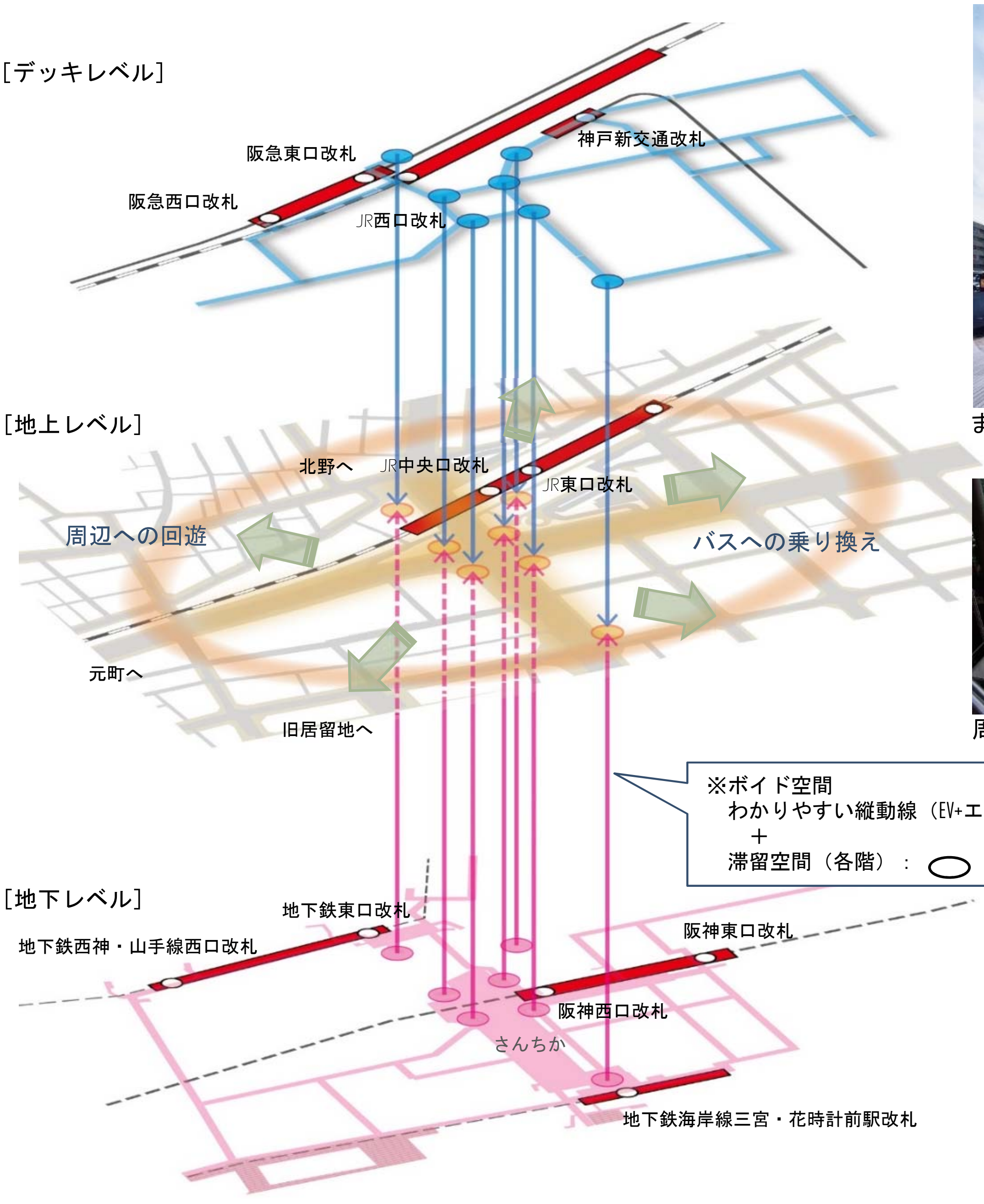
緑と花のある休憩場所

にぎわいのある滞留空間

ボイドの整備による３層ネットワークの強化

- 周辺開発にあわせて、ボイド（わかりやすい縦動線＋滞留空間）を民地内に整備することで、駅周辺の３層ネットワーク（地下・デッキレベルの歩行者ネットワークと地上との接続動線）を強化します。ボイドの整備においては、周囲からの視認性やわかりやすさなどに配慮します。
- 地上を人と公共交通優先の空間にすることで、地上でのスムーズな移動を可能にします。人の流れを安全・快適に地上部へ誘導し、元町やウォーターフロント、北野坂、旧居留地など周辺の魅力スポットへの回遊性を向上させます。
- ボイドの整備や地下・デッキの動線強化により、階層の異なる６つの駅のつながりを高め、乗り換え動線の改善を図ります。

［３層ネットワークおよびボイドの整備イメージ］



※ボイド空間
わかりやすい縦動線（EV+エスカレーター等）：↑
＋
滞留空間（各階）：○

まちのシンボルとなる空間

周辺街区へのスムーズな動線

駅とまちとのつながりを強化

駅からまちへの見通し（京都駅）

- まちへのアクセスや乗り換え動線をわかりやすくするため、鉄道改札口やバス乗降場など交通の主要拠点となる場所からまちが視認できる「見通し」を確保します。
- 統一された多言語の案内サイン等を整備し、三宮に来られた方々が安心して歩き出せるよう誘導します。

駅前広場機能の再配分と駅周辺の歩行者空間の整備

- 駅前広場の再整備では、待ち合い機能など人の空間を優先します。一方で、タクシーや一般自動車にも配慮した寄り付き場を設け、多様な交通手段にも対応します。
- 駅周辺の歩行者移動を妨げる放置自転車対策として、鉄道事業者等と連携し、駅前広場の再整備や周辺の開発に合わせ、駐輪場を整備します。

ＪＲ北側駅前広場イメージ

多様な回遊手段の確保

- 徒歩での移動に加えて、まちへの回遊性を高める手段としてコミュニティサイクル“コベリン”の運用を開始しています。さらに、都心における公共交通（ＬＲＴ・ＢＲＴ・循環バス）やワンウェイ型カーシェアリングの導入を検討します。

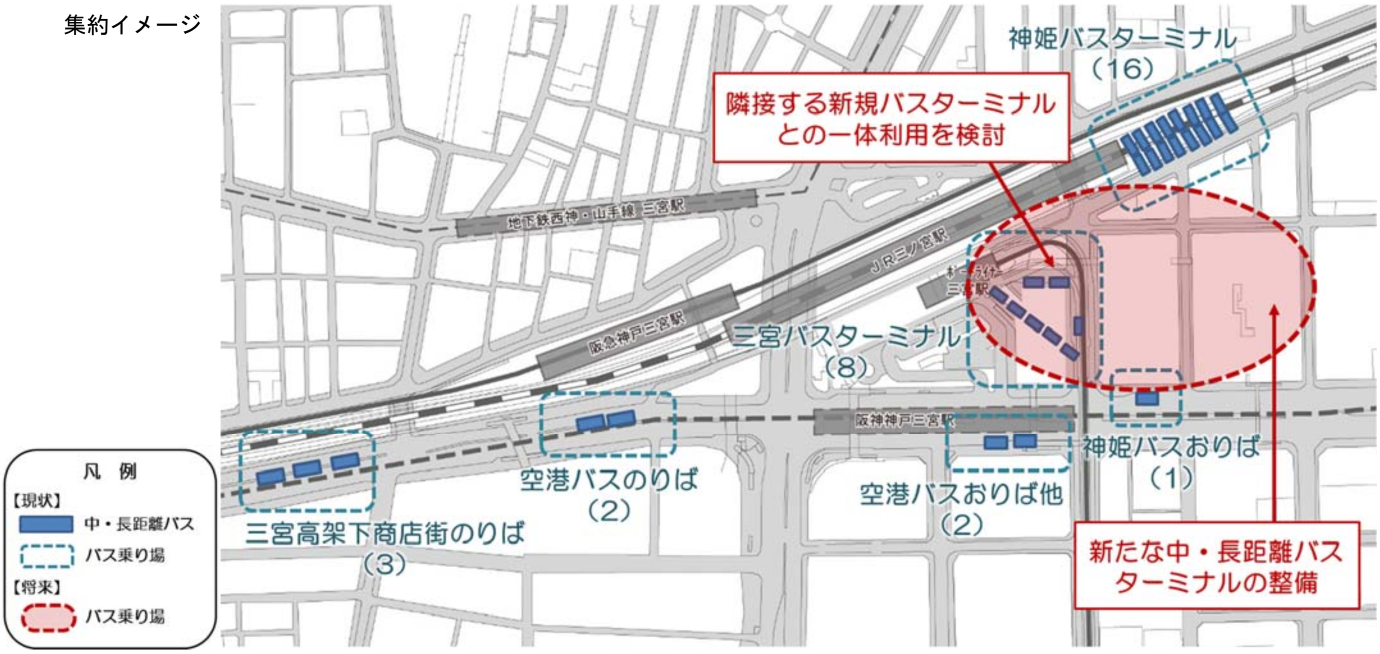
ワンウェイ型カーシェアリングイメージ

神戸コミュニティサイクル“コベリン”

中・長距離バス乗降場の集約

- 現在分散している中・長距離バス乗降場を集約し、中央区役所の街区とミント神戸を一体的に利用したバスターミナルを新たに整備します。中・長距離バス利用者にとっての神戸の玄関口として集約整備することで、わかりやすさの向上だけでなく、待ち合いなどの必要機能が整備されます。

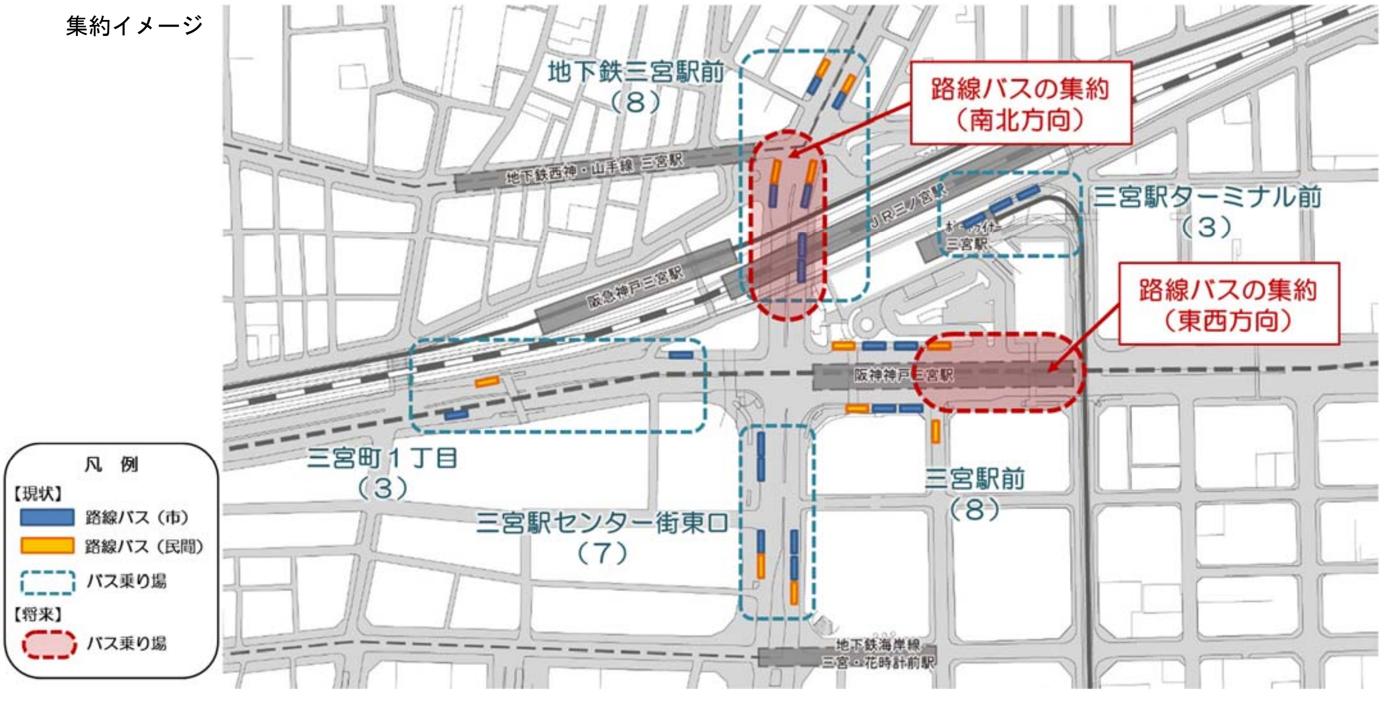
集約イメージ



路線バス乗降場の集約

- 現在分散している路線バスの乗降場を方面別に集約し、利用者のわかりやすさを向上します。

集約イメージ



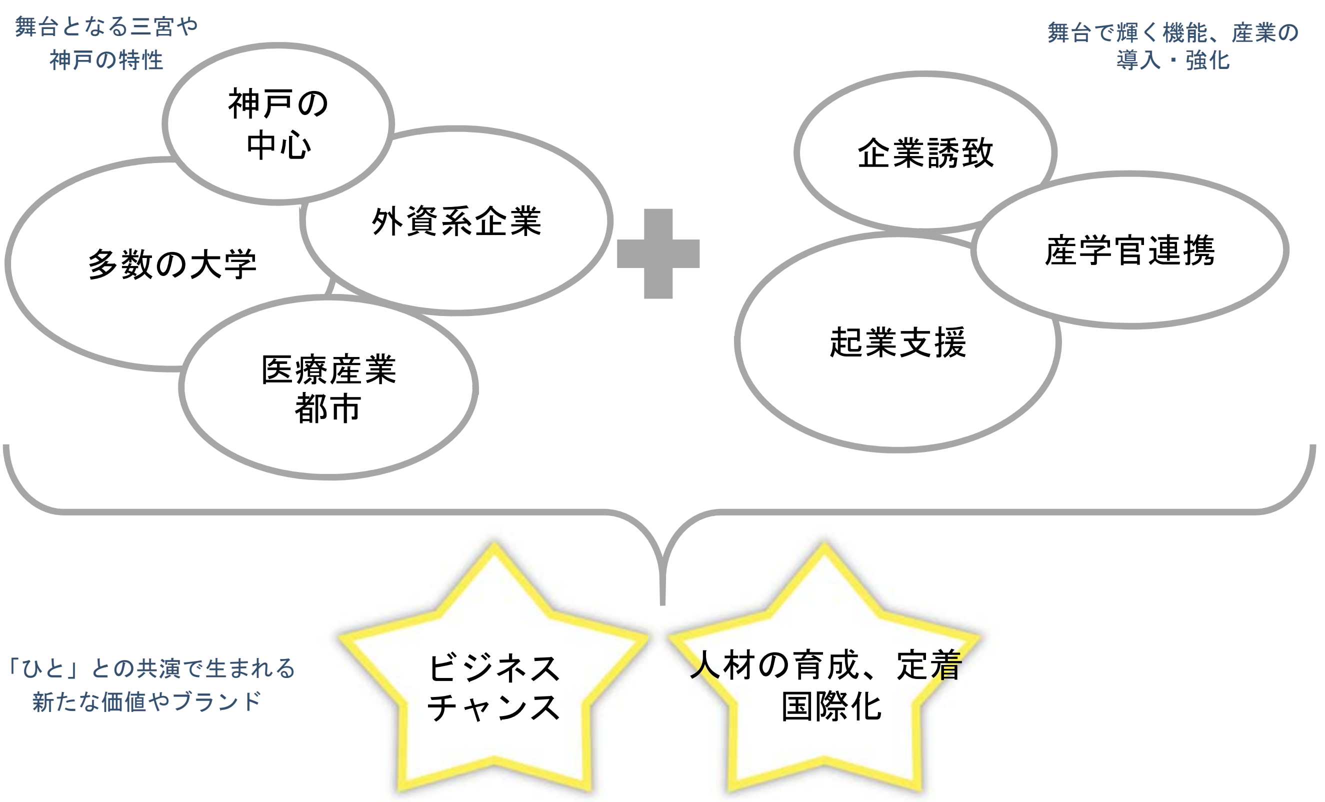
［バスターミナルの整備イメージ］

乗降場イメージ

待ち合いスペースイメージ

神戸に暮らし、働く魅力を高める
～神戸の「なか」から元気に～

業務機能の充実（働く魅力）



具体的な方策

- 起業家の初期の活動を支える拠点「神戸スタートアップオフィス」の設立と、その支援の枠組み「アクセラレーションプログラム」を構築
- 企業誘致のための優遇措置
  （都心での家賃補助、税制優遇等制度の導入検討）
- 医療産業都市、大学集積都市としての神戸の強みを活かした企業や大学との連携・交流拠点の検討

大学都市 KOBE！発信

都市生活の充実（楽しむ魅力）

舞台となる三宮や
神戸の特性

- コンパクトなまち
- 進取の気性
- 駅近に文化施設

＋

舞台で輝く機能、産業の
導入・強化

- バリアフリー
- 子育て対応
- 個性あるイベント
- 学ぶ場
- エリアマネジメント

「ひと」との共演で生まれる
新たな価値やブランド

- 誰でもどの年代でも楽しめる
- 新しい自分との出会い

具体的な方策

- 知的欲求を満たす文化・交流施設や生涯学習施設等の更新・導入の検討
- 「えき≈まち空間」の創出に伴うイベントの“場”の提供、エリアマネジメントによる魅力的なイベントの開催
- 建物の改修、更新等に合わせたバリアフリー化や、女性や高齢者、子育て世代も気持ちよく安心して利用できる施設、公共設備の整備

神戸を訪れ、長時間滞在する魅力を高める
～神戸を「そと」から元気に～

訪れる魅力の充実

舞台となる三宮や
神戸の特性

- エリアごとの個性
- オシャレ
- 個性あふれる店舗
- 路面店舗型の商業

＋

舞台で輝く機能、産業の
導入・強化

- 公共空間の活用
- 連続する店舗のにぎわい
- 美しいデザイン
- エリアマネジメント

「ひと」との共演で生まれる
新たな価値やブランド

- 歩いて楽しむ神戸スタイル
- 来るたびに新たな発見

具体的な方策

- 大規模建築物の低層部へのにぎわい施設の誘導
- 神戸版ＢＩＤ制度などを視野に入れたエリアマネジメントによる防犯、清掃活動や公的空間の利活用
- 路面型・回遊型の店舗整備を誘導

KOBE
B.I.D.
Business
Improvement
District

BID： 地域内の地権者に課される協働負担金を原資とし、地域内の不動産価値を高めるために必要なサービス事業を行う組織

誘う魅力が溢れる

魅力の発信・提供

舞台となる三宮や
神戸の特性

- 市内全域に魅力スポット
- 神戸の玄関口
- 国際都市神戸
- 豪華客船の寄港

＋

舞台で輝く機能、産業の
導入・強化

- ＡＲコンテンツ（拡張現実）
- 魅力満喫モデルコース
- Ｗｉ-Ｆｉサービス

「ひと」との共演で生まれる
新たな価値やブランド

- 来訪者の増加
- 一度では全部楽しみきれない魅力

具体的な方策

- 市民、事業者、行政が一体となった国内外への観光プロモーションの拡充
- ビッグデータ、オープンデータを活用した観光マーケティング分析による新たな観光ルートの開拓や来街者が知りたい情報の解析
- ＫＯＢＥ Ｆｒｅｅ Ｗｉ-Ｆｉのサービス拡充や新たなコンテンツの導入検討

おとな旅神戸

KOBE Free Wi-Fi

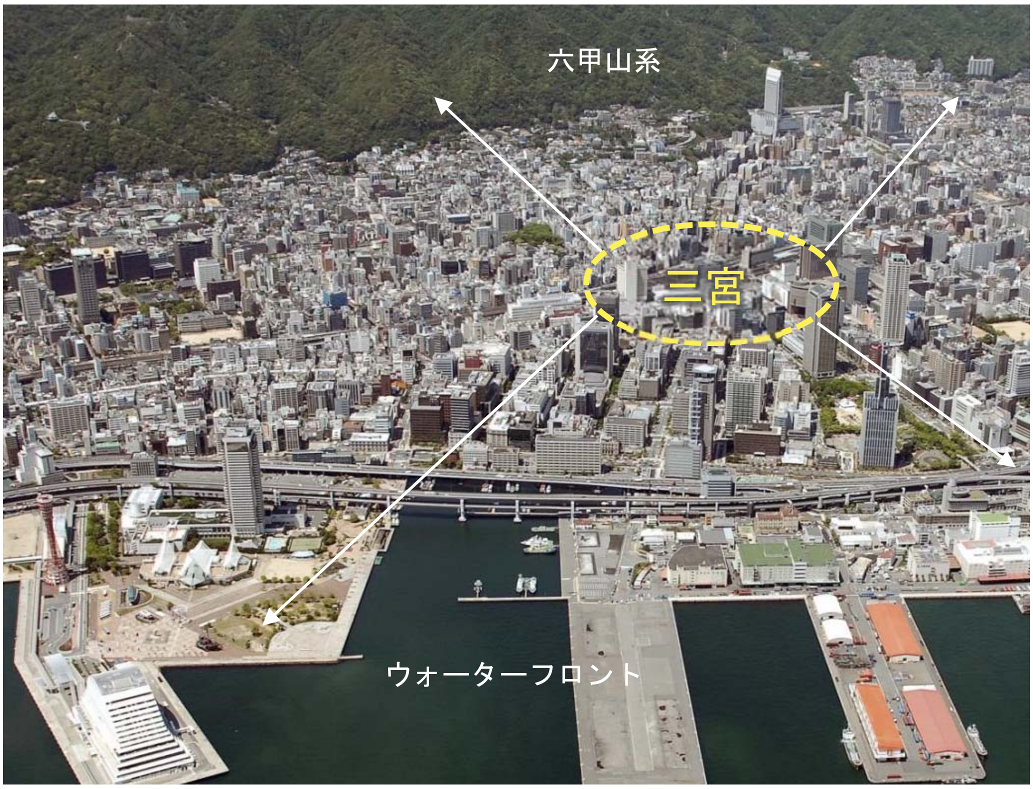
KOBE Official Travel Guide
by NAVITME

公共空間と民地が一体的にデザインされた玄関口にふさわしい駅前景観の創出

- 訪れた人の五感に響くシンボリックな玄関口、市民が誇りに思える景観を創出します。
- 駅前広場、道路空間などの公共空間と民地が互いに意識しながらデザインすることで、駅前空間全体に一体感を持たせます。
  また、建物の低層部は、内部のにぎわいが見える開放的なデザインとするなど、活気ある駅前景観を形成します。
- 三宮駅前において、既存の景観計画区域を再編し、さらに屋外広告物の目指すべき方向性を示すなど積極的に景観デザイン誘導を実施します。

眺望景観の確保、視点場の整備

- 三宮の立地特性を活かして、都市部では希少な「緑の豊かさ」、「水際への開放感」を体感できる眺望景観の確保、視点場の整備を検討します。



まちが海と山に近接

山への眺望確保

神戸の歴史や文化の薫りが漂う、風格ある街並みデザインの誘導

- 景観デザインコードを設定することで、建築物や公共施設のデザイン誘導、屋外広告物のコントロールを行い、神戸らしさを感じられる風格ある街並みを誘導します。

自然素材、小さめの開口部、垂直的な意匠がもたらす風格の創出

屋外広告物のコントロール

日本を代表する夜間景観の更なる魅力向上

- 日本でも有数の魅力ある夜景にさらなる磨きをかけ、より美しく世界に誇れる夜間景観の創出を目指します。
- 既に行われているライトアップの活動などを活かして集客力を高め、まちの活力向上に寄与する取り組みの強化、拡充を行います。

夜も漂うおもてなしの雰囲気
（フラワーロード光のミュージアムイメージ）

居心地の良い暖かな電球色
（神戸都心夜景１０選）

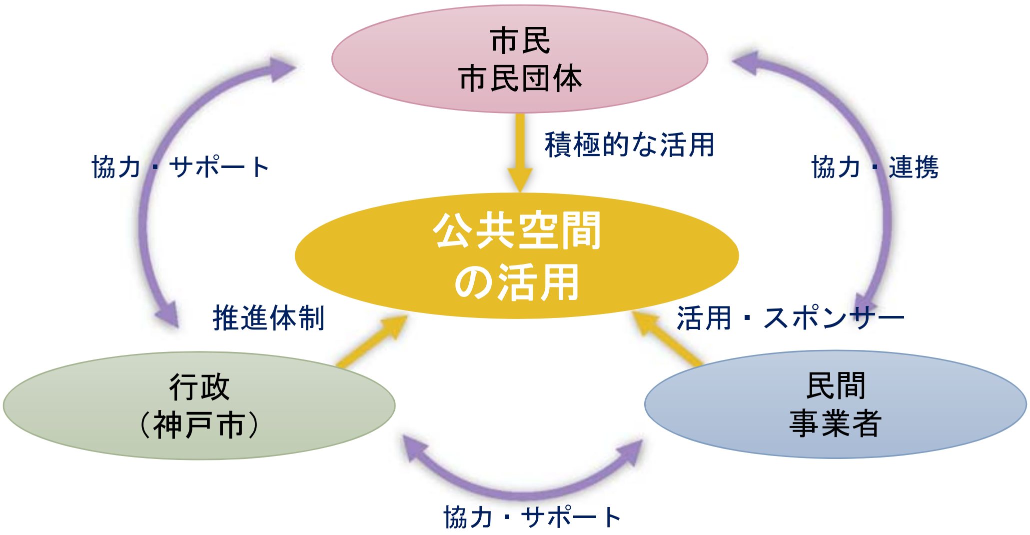
夜の街並みにも風格を演出

「えき≈まち空間」の夜間景観イメージ

地元協議会と連携した エリアマネジメントによる特色あるまちづくりの実践

- 既に行われている取り組みをさらに広げていくことによって、個性あふれるまちづくりを実現します。
- 公共空間をより多くの人が楽しく利活用できる仕組みを検討します。

※エリアマネジメント：一定の地域内の市民、地権者、事業者等による、地域の魅力や価値の維持向上を目的とした防災や防犯、清掃活動などの主体的な取り組み。



企業と協力した国際的なファッションイベントの開催など

［エリアマネジメント事例］

三宮駅周辺：光のデッキ回廊

- 三宮駅南エリアでは、にぎわい創出と集客力アップのため、近隣商業施設と交通事業者が連携し、冬の間デッキやビルのライトアップを開催しています。

ＬＥＤライトで彩るイルミネーション事業、クリスマスコンサート

東遊園地：パークマネジメントによる公園の有効活用

- 東遊園地ではすでに、「神戸ホワイトディナー」、「アーバンピクニック」など、まちを上手に使っていく取り組みが市民活動として試験的に始まっています。

アーバンピクニック

神戸ホワイトディナー

［市民主体のにぎわい活動のイメージ］

道路空間と民地を一体的に活用したにぎわいづくり

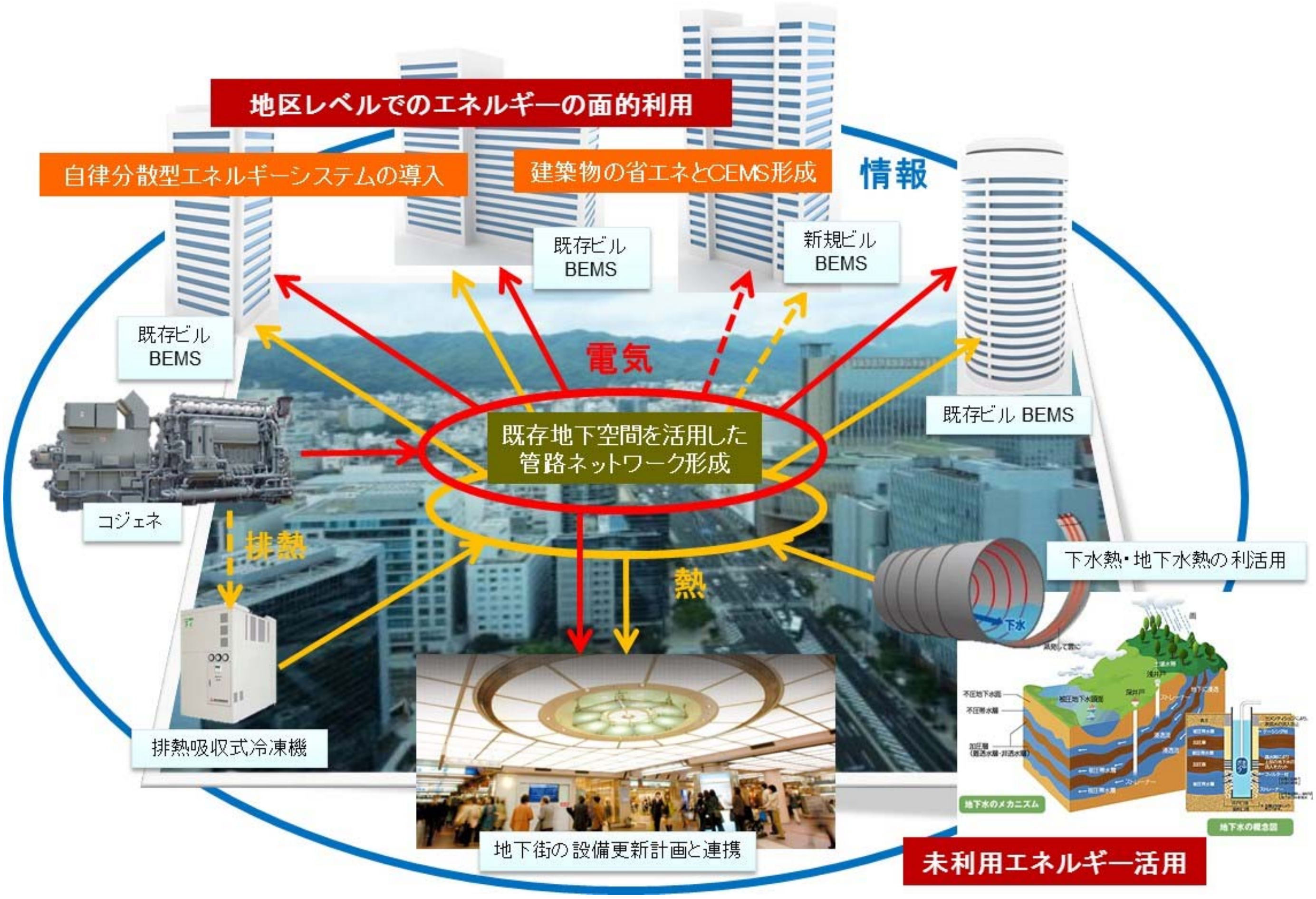
低炭素まちづくりやエリア防災への取り組み

- いざという時、施設間で電気を融通しあえるなど、防災や環境に配慮したまちづくりを推進します。

［低炭素まちづくりへの取り組みイメージ］

○ 持続可能で低炭素なリノベーションを牽引していくために、既存の地下空間を活用して面的なエネルギー利用を可能とする管路ネットワークを形成します。

○ 建て替えや設備更新などに合わせて順次ビル群を接続し、有機的に拡大・成長する「次世代スマートエネルギーインフラ」の構築を目指します。



［用語説明］

BEMS：ビルエネルギーマネジメントシステム（ビル内の電力需要と電力供給のコントロールエネルギー効率を高めるシステム）
CEMS：地域エネルギーマネジメントシステム（地域内の電力需要と電力供給をコントロールしてエネルギー効率を高めるシステム）
コジェネ：天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム

神戸の魅力を国内外に広報・PRするシティプロモーションの強化

- 国内外からの観光客に対するインフォメーションサービスの強化を図ります。
- 震災復興の記憶と共に、これからの神戸・三宮発展の展望を広く伝えていく機能の導入を検討します。

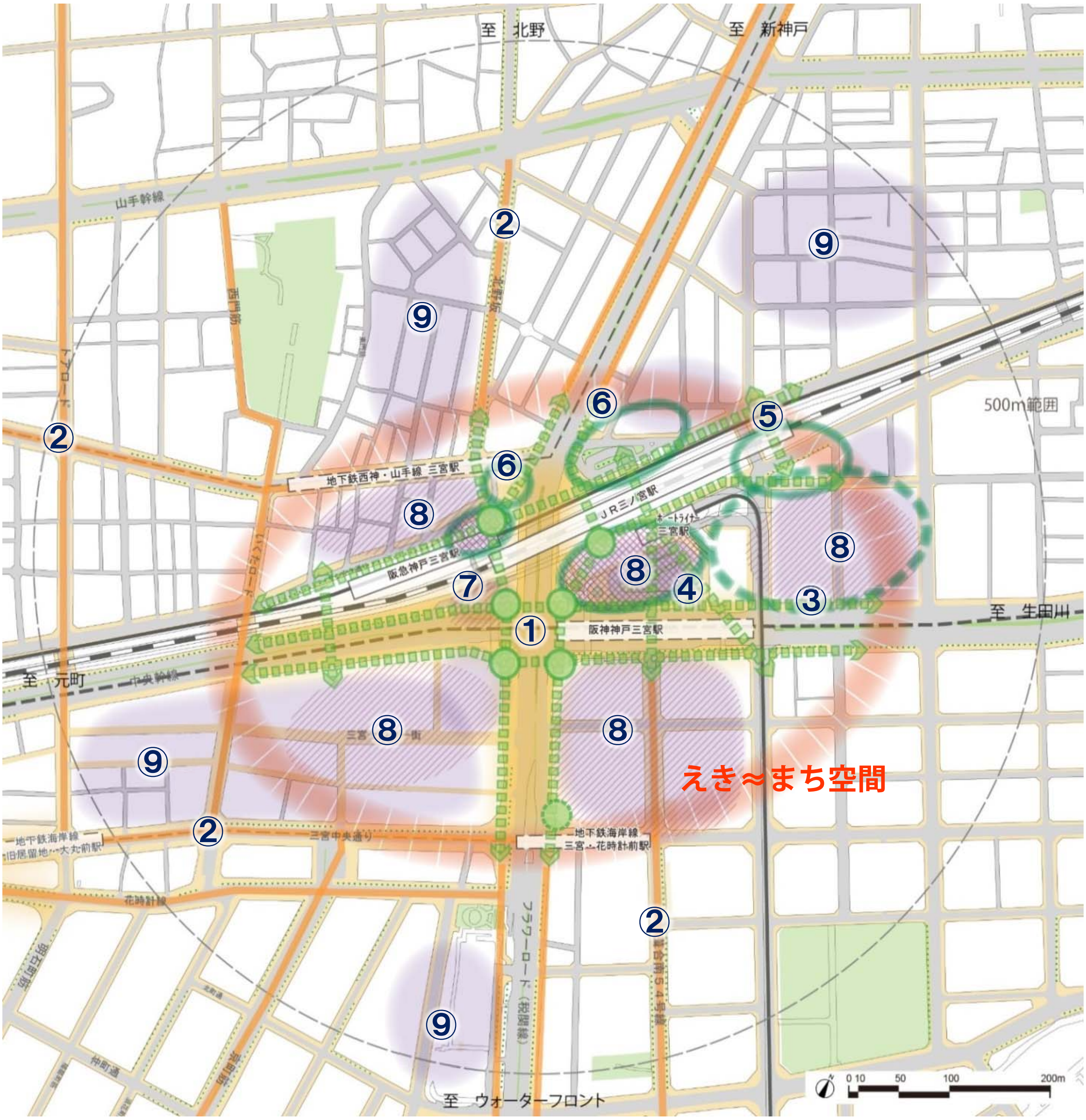
インフォメーションサービス　イメージ

市街地ジオラマ模型イメージ（ＭＩＰＩＭ　ＪＡＰＡＮ）

構想実現のための長期的スケジュールイメージ

		平成27年9月～短期	短期～中期	中期～長期	長期
まちの再整備到達イメージ		• 先行街区での建て替えが進行中 • 道路空間リデザイン進行中	• 新バスターミナルが完成 • 3層ネットワークが強化 • 道路空間リデザイン進行中	• 「えき≈まち空間」の整備が概ね完了 • ゆとりある駅前空間と神戸を象徴する玄関口としての景観が創出されている	
主要プロジェクト					
道路空間リデザイン	① フラワーロード、中央幹線の人と公共交通優先化〔三宮クロススクエア〕	歩道拡幅にかかる計画、設計、整備			
				人と公共交通優先化にかかる計画、設計、整備	
	② その他（葺合南54号線 等）		計画、設計、整備		
③ バスターミナル再編（三宮東エリア）		新バスターミナル整備等にかかる計画、設計、整備			
駅前広場拡充等	④ ＪＲ南	計画、設計、整備			
	⑤ ＪＲ東			計画、設計、整備	
	⑥ ＪＲ北 阪急北			計画、設計、整備	
⑦ 三宮交差点ほかボイド・歩行者動線等整備		デッキ整備等にかかる計画、設計、整備			
「えき≈まち空間」街区等の再整備	景観デザインコード	策定	運用		
	⑧「えき≈まち空間」内（ＪＲ新駅ビル、阪急新駅ビル など）	計画、設計、整備			
	⑨「えき≈まち空間」周辺街区	計画、設計、整備			
その他		エリアマネジメント組織立上げ、仕組みの構築	エリアプロモーション、公共空間利活用等		

［主要プロジェクト］



［公共空間再整備（行政主導プロジェクト）］

①：三宮クロススクエアの形成
（人と公共交通の優先化）

②：道路空間リデザイン
（歩道拡幅等）

［公共用地＋民間用地（官民連携プロジェクト）］

③：新バスターミナルの整備
（中・長距離バス乗降場の集約）

④～⑥：駅前広場の拡充等

⑦：ボイドおよび歩行者動線の整備

［街区再編（民間開発誘導プロジェクト）］

⑧：「えき≈まち空間」内の再整備（ＪＲ・阪急新駅ビルなど）

⑨：周辺街区等の再整備

本資料には多くの施策案とイメージを掲載しています。
これらは、今後三宮周辺地区の目指すべき姿を表したものであり、実施計画や事業を決定・拘束するものではなく、取り組みの方向性を示すものです。
掲載の施策については今後、関係者間で協議・調整の上、実現に向けて進めていきます。

http://www.city.kobe.lg.jp/kobetoshin/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization

City of Design KOBE

Member of the UNESCO Creative Cities Network since 2008

問い合わせ先

住宅都市局計画部計画課
都心三宮再整備担当
TEL：078-322-6935
mail：kobe-toshin@office.city.kobe.lg.jp

神戸市広報印刷物登録　平成　　年度第　　号